



地区青少年交換委員会

委員長 徳岡 昭七郎

(大阪天満橋RC)

日時:2007年8月25日(土) 15:00~17:00

場所:フェイスゲストハウス 月華殿

出席者:徳岡 昭七郎 地区青少年交換委員会委員長、地区青少年交換委員
地区内RC国際奉仕・青少年交換委員長

たくさんの関係者の方々のご参加を頂き、青少年交換委員長会議を開催出来たことに感謝しております。各RC国際奉仕・青少年交換委員長30数名が出席されました。

現況と今後の方向の説明の後、今年度もまた、青少年交換プログラムで1年間の交換を満了した帰国学生の会である、ROTEX(ローテックス:ROTarY EXchange students)を招き、議事進行もお願いし、プログラムを通した生の経験、帰国後の生活の様子を皆様の前で話してもらいました。高校生から社会人までのROTEXが参加してくれた為、各クラブ青少年交換委員長の方々の質疑も多岐に亘り、交換プログラムへの強い関心が伺えました。地区プログラムの中でも、その成果が最も目の当たりにできるプログラムであるからこそ、皆様の熱心な意見を多く聞くことが出来ました。中でも、24時間365日の対応を如何にすべきとか、このプログラム体験後の学生の現在、未来はどう変わるのか等、もっと多くの情報提供を望んでおられることが認識できました。今会議における大きな収穫です。認識度向上の新たな活動に努めていきたいと思ひます。

16時半過ぎに、帰国学生及び来日学生が集合し、全委員長の前で自己紹介とコメントを伝えて、17時からは大谷GNにも参会頂き、歓迎会を行ないました。今年度は7名の帰国学生と、13名の来日学生を迎えました。帰国学生に関しては1年という短期間で表情が一変したことを誰しも実感させられました。毎年のこととはいえ、彼らの言語力、自信、積極的な行動力、目の輝きに現れる成長具合を見るのは大変嬉しいことでした。また、来日学生は未だ日が浅く、言語力には無理がありますが、日本の生活に溶け込もう、どのような経験機会が自分達を待っているのか、という期待に溢れた顔でスピーチを行ないました。

会議・懇親会を通じ、プログラム参加の一年での学生の目を見張る個人的成長と新しい国際感覚振りを皆様に充分にご覧頂き、プログラムの素晴らしさを実感していただきたいと思います。今後、更なるご理解・ご協力および普及率向上に努めたいと思ひます。

